

記載例

事業名	さとうきび農業機械等リース支援事業
事業実施主体名	〇〇生産組合
事業実施年度	平成25年度(令和元年度実績)

・「さとうきび農業機械等リース支援事業」又は「北海道・南九州畑作物農業機械等リース支援事業」を記載

・様式は「年月日～年月日」となっていますが、「平成25年度(令和元年度実績)」と記載

1 事業の効果

(1) 具体的な取組内容

本地区は、〇〇といった課題を抱えていたため、〇〇(農業機械名)を導入することにより、〇〇の成果目標を達成し、効率的かつ持続的なさとうきびの生産体制を確立する。

・事業実施計画第1の事業目的、導入機械、成果目標等を基に実施した事業内容を記載

(2) 成果目標の達成状況

成果目標の具体的な内容	10a当たり労働時間を50%削減		
成果目標の達成状況	指標	達成率	
目標値	50	hr/10a	
基準年(平成24年)	100	hr/10a	
目標年(平成30年)	60	hr/10a	80%
改善計画実施結果			
(令和元年)	45	hr/10a	110%

・昨年度評価(30年度実績)で未達成だった目標のみ記載  
・事業実施計画に記載した成果目標について、計画時の目標値及び現状値、30年の実績値を記載  
・達成率は(30年実績値-24年現状値) / (27年目標値-24年現状値)で計算  
・複数の成果目標を設定した場合は、欄を追加して記載

・元年に改善計画に取り組んだ場合、元年の実績値を記載  
・達成率は(元年実績値-24年現状値) / (27年目標値-24年現状値)で計算  
・複数の成果目標を設定した場合は、欄を追加して記載

事業の実施による効果

【成果目標を達成している場合】  
本事業で〇〇を導入したことにより、10a当たり労働時間〇%削減の成果目標を達成し、〇〇という課題が解決され、本地区における効率的かつ持続的なさとうきびの生産体制を確立に寄与した。

【成果目標を達成していない場合】  
本事業で〇〇を導入したことにより、10a当たり労働時間は〇%削減したものの、達成率は〇%と〇〇(達成できなかった理由を記載)により成果目標を達成できなかった。

【成果目標を一部のみ達成している場合】  
本事業で〇〇を導入したことにより、10a当たり労働時間〇%削減の成果目標は達成したものの、10a当たり収量の成果目標は〇%増加したものの、達成率は〇%と〇〇(達成できなかった理由を記載)により達成できなかった。

・成果目標の達成状況に応じて記載  
・成果目標を達成していない場合は、達成できなかった理由(外的要因等)を詳しく記載

事業計画の妥当性

1 (理由)

【成果目標を達成している場合】  
本事業の実施により、成果目標を達成するなど、事業計画の内容は妥当であった。

【成果目標を達成していない場合】  
成果目標が達成できなかった理由は、〇〇と計画時には想定できなかったものであり、今後、〇〇に適切に取り組めば成果目標の達成は可能であるため、事業計画の内容は妥当であった。  
本年度で事業によるリース期間は終了となるが、今後、新たに〇〇(自己資金、リース会社からの融資等)で購入した機械等を使用する場合、又は新たに国庫事業に取り組む際は、これらを踏まえた適正な機械等の活用に努めてまいりたい。

・成果目標の達成状況に応じて記載  
・成果目標を達成していない場合は、計画時には想定できなかった理由、今後、成果目標達成に向けた取組内容を記載

適正な事業の執行

1 (理由)

本事業で導入した機械について、稼働率は〇%と適切に使用しており、適正に事業は執行された。

【稼働率が低い(8割以下)の場合】  
本事業で導入した機械について、稼働率は〇%となっているが、これは〇〇といった理由であり、〇〇に取り組めば、適切な稼働率となる見込みであった。  
本年度で事業によるリース期間は終了となるが、今後、新たに〇〇(自己資金、リース会社からの融資等)で購入した機械等を使用する場合、又は新たに国庫事業に取り組む際は、これらを踏まえた適正な機械等の活用に努めてまいりたい。

・導入機械の稼働状況に応じて記載  
・稼働率は導入機械の「元年使用(受益)面積÷計画時の受益面積」で計算  
・導入機械が複数ある場合は、機械毎の稼働率を単純平均  
・稼働率が低い場合は、低くなった理由(外的要因等)、稼働率向上に向けた取組内容を記載

(注)

- 1 「成果目標の具体的な内容」の欄については、事業実施計画書に記載した内容を転記すること。
- 2 「成果目標の達成状況」については、算出の根拠となる資料を添付すること。
- 3 「改善計画実施結果」については、成果目標が達成されず、基金管理団体から指導を受けた場合に記入すること。改善計画に2年以上取り組む場合は、欄を適宜追加すること。
- 4 「事業の実施による効果」については、取組の総評を記入し、整備事業を実施した場合は施設の活用状況についても記入すること。
- 5 「事業計画の妥当性」及び「適正な事業の執行」の欄については、事業が適切に実行された場合には1を、それ以外の場合には0を記入すること。また、その理由について記入すること。

・10a当たり労働時間にあつては、作業毎の労働時間実績、10a当たり収量等にあつては作型別面積・単収・生産量等、算出根拠を別途添付